

2023.4.1 発行

あ・し・た

いする

んじる

のしむ

第10号



発行元：宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会

TEL：0940-37-4100(宗像市ボランティアセンター)

全体研修会

『わが家・わがまちの防災』

講師：宗像市 危機管理課 防災係 係長 靱山隆良さん 主事 松本裕大さん

昨年9月27日(火)メイトム宗像にて実施しました。受講者は22人。

松本主事は前職が朝倉市役所勤務で、平成29年7月の九州北部豪雨では杷木地域にてヘリで避難する人を案内したこと、流木の皮がすべて剥がれるほどの激流に人が流されてしまったらひとたまりもないことなど、甚大な被害を目の当たりした人でもありました。連日睡眠2,3時間で災害対応をしていた時、ボランティアの人に「大変でしょうけどがんばって下さい」と声掛けをしてもらい、心は折れかけていたが、もう一度がんばろうと思えたことや、何気ない声掛けが大きな支えになるという心のケアの大切さを話されました。



参加者からは「居住地区の特性について改めて知ることができた」「質問を受けた靱山さんが市内の危険箇所や避難場所について驚くほど熟知されていた」「何気なく防災訓練に参加していましたが、近所の方への声掛けの大事さが分かった」などの意見が寄せられました。

ボラ連の新しい仲間をご紹介します

「不登校を考える かたつむりの会」

「不登校や行きしぶりなど、子育ての悩みや問題を抱えている人を支援し、一緒に考えたいと集まっています。ボラ連加入で、活動をより広く知ってもらいたいと思います。」と代表の黒木美智世さん。

ボラ連運営推進委員会も、この会は福祉分野のひとつとして必要であり、茶話会やステップガイドの改訂版作成の具体的な事業も応援したいと考えています。

みなさん、どうぞよろしくお願ひします。



黒木代表



ふくおか “きずな” フェスティバル

3年ぶりにホールで開催

2月第三日曜日の恒例行事であるきずなフェスティバルが、3年ぶりにクローバープラザで開催されました。私たちボラ連からの参加は14人。宗像市社会福祉協議会のバスが廃止になり、初めての民間バスでの研修となりました。



記念講演は、原土井病院の原寛先生でした。90歳で元気な老人は約1割。「91歳でも元気な私のように、食事・運動に気をつけてみんなでその割合を増やしましょう」と訴えられました。

午後は、盲導犬、子どもアドボカシー、防災、アンコンシャスバイアス等、数人ずつ分科会に分かれて研修しました。とても勉強になりました。

活動紹介 「アイフレンド」

アイマスク体験学習でバスの乗り降り

視覚障がいのある方への外出支援をするボランティア団体アイフレンドは、宗像市内の小学4年生に福祉学習のゲストティーチャーとしてアイマスク体験学習に毎年協力してきました。

今年度は、日の里西小学校と日の里東小学校でノンステップバスを香椎浜営業所より借用して、バスの乗り降りをアイマスク体験に加えました。九州運輸局バリアフリー推進課の方も一緒に「誰もが住みよい社会」と「自分たちにできること」を学びました。子どもたちは緊張しながらも楽しそうなのが印象的でした。



運営推進委員の任期満了に当たって

識見者として6年間携わっていただきました関本健一さんと会長6年、事務局長2年そして推進委員として1年間ボラ連に携わっていただいた高岡隆志さんが退任されます。お疲れさまでした。

第三者的に会運営に参画させていただきました。有難うございました。皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げます。
(関本)

コロナに始まりウィズコロナで任期を迎えました。新任の推進委員への励ましと応援をよろしく願います。今後はポコ・ア・ポコで終活いたします。(高岡)

※ポコ・ア・ポコはイタリア語でゆっくり、少しずつの意味



第39回 ボラ連総会のお知らせ



今年度のボラ連総会は、4月20日(木)午後1時よりメイトム宗像202会議室にて開催いたします。終了後には茶話会を予定しています。皆さまどうぞご参加ください。